

ふるさと 訪ねある記

49



常楽寺しろかき地蔵(米山)

米山町の常楽寺に、通称しろかき地蔵と呼ばれる高さ37センチほどの木造座像のお地蔵さまが祭られています。その名の示すとおり、農業の守り神で、このお地蔵さまには次のような話が伝えられています。

昔、天候不順と疫病が重なり、しろかきすることができなくて困り果てたおじいさんが、このお地蔵さまにお願いしたところ、どこからともなく子どもがやってきて作業を手伝ってくれました。しろかきが終わったのでおじいさんは子どもに何か食べさせてやろうと家に行き、再び田んぼに戻ってみると、子どもがいなくなっていました。不思議に思っ

て辺りをみると、泥の付いた小さな足跡が祭ってある地蔵堂に点々と続いていました。たどりついて見るとお堂の扉が開いていて、お地蔵さまは泥だらけになったまま背をこちらに向けていたといわれています。

そんな昔からの米どころ「米山」の水田は、今年も家族そろって作業をする風景が、水田一面に広がる、田植えの季節を間もなく迎えるようとしています。

【所在地】 登米市米山町西野字十日町3番地1
【問い合わせ】 常楽寺 ☎0220 (55) 3527

歴史博物館

広報ミニ展示室 36

＝ 絵はがき 大阪商船「さんとす丸」 ＝



さまざまな思い出がつけられた絵はがき

カメラが普及していなかった時代、絵はがきは旅の思い出にぴったりのお土産でした。写真は、大正時代の旅客船「さんとす丸」。大阪商船の船舶で大正14年に就航された日本初のディーゼル客船です。南米航路の移民船として活躍した後、昭和15年には国内の就航船としても使用されました。はがきには、「この船に「リンゴを食べながら乗っている」という記載があり、その光景が目に見えそうです。ほかにも、修学旅行先で買いそろえた絵はがきや、市内の戦前の様子が描かれた絵はがきなどもあり、懐かしさとともに旅の楽しさや、その当時の様子を伝えてくれます。



平筒沼ふれあい公園 桜まつり

平筒沼周辺に植えられた600本に桜が一斉に咲誇り、沼のほとりを彩ります。期間中は午後6時から9時30分までふれあい橋がライトアップされ水面に映る桜並木が幻想的な空間を演出します。

期間：平成21年4月6日（月）～26日（日）

場所：平筒沼ふれあい公園

期間中イベント【さくらの饗宴】

〔日時〕 4月18日（土）、19日（日）

【第1部】 10:00～11:30 【第2部】 13:30～16:00

◎場所 平筒沼youyou館 多目的ホール

◎内容 特設ステージで地元団体による歌謡・舞踊ショーなど

※園内には子ども用の遊具があるほか、遊歩道での散策もできます

【問い合わせ】 米山総合支所地域生活課 ☎ 0220 (55) 2111

豊里総合支所地域生活課 ☎ 0225 (76) 4111



モバイルとめ

<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)